

※情報共有メールは、プラチナサポートの特典となっております。プラチナサポート加盟店以外への共有、流用等は禁止されております。

※配信当時の内容のため、現状の内容と異なる場合もございます。予めご了承ください。

プラチナサポート情報共有メール					
No.	668	配信日	2026/3/16	ジャンル	業界情報
テーマ	要注意！偽造品の持ち込み増加中				

現在、金相場の歴史的な高騰を背景に、極めて精巧な「偽造品」を店舗に持ち込む案件が急増しています。警察庁によると、金の延べ棒など金地金をだましとる特殊詐欺で被害額が26億7000万円となった時期もありました。最近の偽造品は、一見しただけでは判別が難しいほど巧妙化しています。万が一、これらを買ってしまった場合、店舗は100%の損失を被るだけでなく、犯罪グループに資金を提供することにもなりかねません。

■警戒すべき偽造品の特徴

- ①中身がタングステンで外側が厚メッキの品物
このような偽造品は、貴金属買取においても見抜くのが困難なお品物と言えます。
なぜならば、金の比重（約19.32）とタングステンの比重（約19.3）がほぼ同じであるため、**比重計では「金」という判定が出てしまうから**です。
- ②レーザー刻印の品物
刻印は消えているところがあったりまっすぐに打たれていなかったりしますが、
レーザー彫刻は均一にキレイに揃っています。レーザー刻印だからと言って偽造品とは限りませんが、**偽物の商品に本物そっくりのロゴや純度刻印などを入れることは容易になっていますので注意が必要です。**
- ③ホールマーク付きの品物
第三者機関である造幣局が貴金属の純度を証明するものであり、高い信頼性がありますが、
このマーク自体を模倣した偽造品が出回っています。

■偽造品を買わないために

偽造品を買わないためには、知識だけでなくマニュアルに忠実に検査を怠らないことが大事です。

- ①刻印、全体の作りの確認
レーザー刻印は、肉眼では完璧に見えます。
レーザー特有の「焼けたガサガサ」が見えることがあります。
伝統的な打刻にある「金属の自然な盛り上がり」があるかを確認してください。
- ②比重計、試金石の使用
タングステン芯の偽造品は、比重を18金や純金まで近づけています。
気泡が一つ付くだけで数値が狂い、偽造品を見逃す原因になります。
気泡をしっかり抜いて3回以上検査しましょう。
- ③預かり査定の提案
預かり査定をすることにより、より精密な検査ができます。
この提案により不正品も同時に防ぐことができる可能性が上がります。



今回は「偽造品の注意点」を共有しました。
偽造品を持ち込むというような犯罪はいつ自分の店舗で起きるのかは予測できません。
少しでも「おかしい」と感じる直感大切にしてください。
「買わない」という判断が、結果としてお店と自分自身を守ることにつながります。
不明な点や、判断に迷う具体的な事例があれば、いつでも相談してください。